

P07b ほ座分子雲に付随するブライトリム分子雲 BRC58 の近赤外線撮像観測

田中 温子、伊藤 洋一 (神戸大学)、大朝 由美子 (台湾師範大学)

大質量星形成領域では、大質量星の放つ紫外線によって H II 領域が作られるが、それと同時に圧縮された分子雲が可視で明るいリムのように見えることがある。このような分子雲をブライトリム分子雲 (BRC) という (Sugitani et al.1991)。これまでに BRC14(Matsuyanagi et al. 2006) や BRC37(Ikeda et al. 2008) の観測から BRC における誘発的星形成が確認されている。こうした観測から、O 型の励起星をもつ領域の星形成活動は徐々に解明されつつあるが、O 型星に比べて小さい B 型の励起星をもつ領域の星形成活動はまだ解明されていないことも多い。

そこで、B 型星を励起星として持つ BRC の星形成活動を調査した。BRC58 は、我々から 700pc の位置にある分子雲で、励起星は B0 V、リムは幅 0.93pc である。観測は南アフリカにある IRSF/SIRIUS (視野 $7.7' \times 7.7'$) で行い、分子雲内で生まれたばかりの Young Stellar Objects (YSOs) の観測に適した近赤外波長の 3 バンド (J、H、Ks バンド) を用いた。取得した画像を解析し、検出された天体から二色図を作成して、YSO 候補天体を同定した。講演では本領域の星形成活動について議論する。